

ベローズプリント取扱説明書

データ作成について

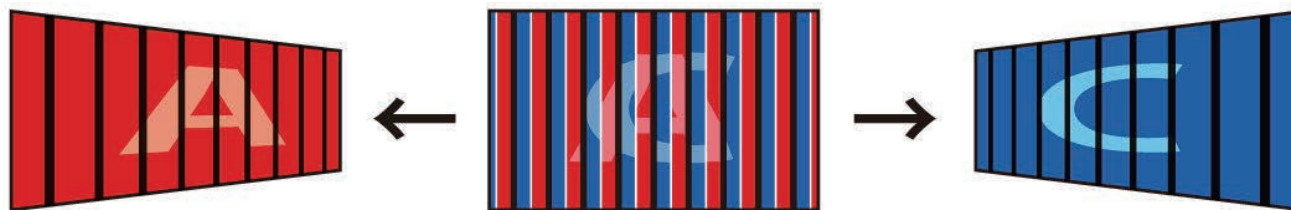
目次

1. ベローズプリントについてP3～P5
2. データ作成（Adobe Illustrator）P6～P12

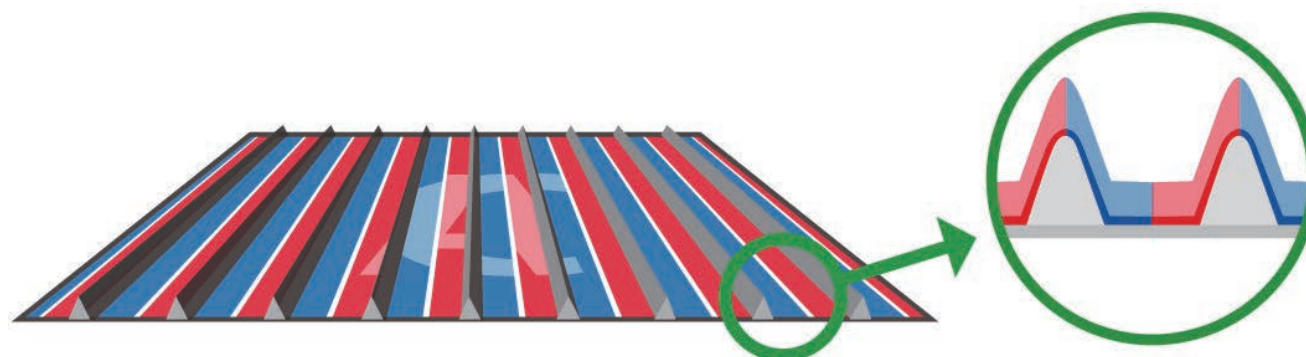
1.ベローズプリントについて

■仕組みについて

UV照射で瞬時に硬化させるUVインクを何層にも重ねてプリントすることで表面に凹凸感を出し一定の角度から見ることによって2種類の絵柄が入れ替わります



左側から見たイメージ / 正面のイメージ（左右の絵柄が混じって見えます） / 右側から見たイメージ



正面斜めからのイメージ / 拡大イメージ

1.ベローズプリントについて

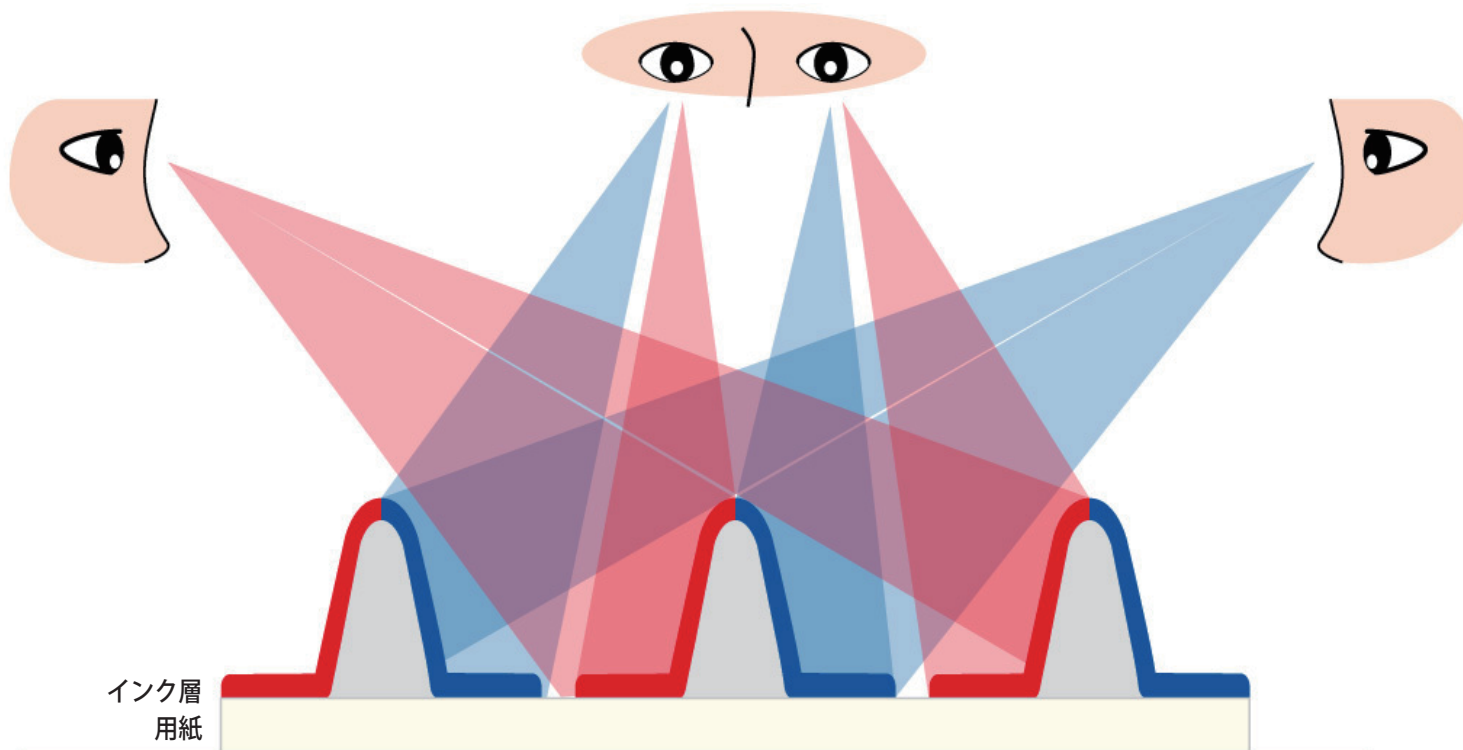
■視認パターン

一定の角度から見ることによって、2種類の絵柄が入れ替わります。

左側側面から見た状態
赤色の絵柄が見えます。

正面から見た状態
赤色、青色の両方の絵柄が見えます。

右側側面から見た状態
青色の絵柄が見えます。



1.ベローズプリントについて

■見え方①

<左側から見たイメージ>



<正面から見たイメージ>



<右側から見たイメージ>



左右の絵柄が混じって見えます

■見え方②

<左側から見たイメージ>



<正面から見たイメージ>



<右側から見たイメージ>



左右の絵柄が混じって見えます

凹凸がかかるため、小さい文字を使用すると、見えづらくなります。
小さい文字を見えやすくするには「2. データ作成_CLレイヤー作成」参照

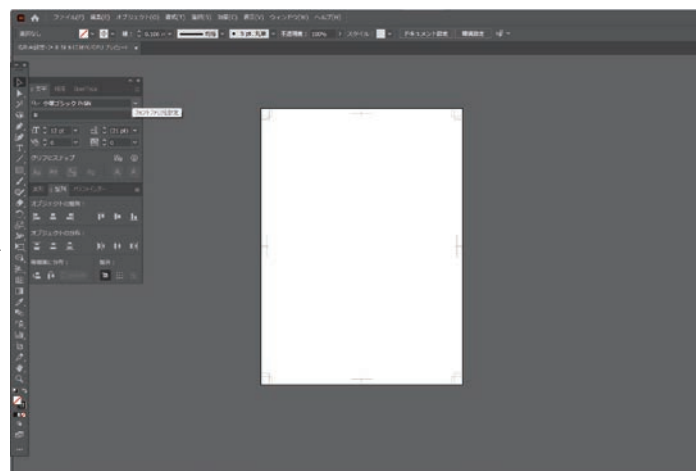
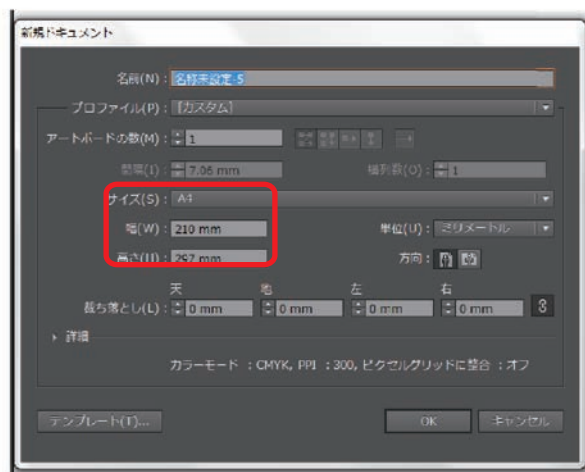
2. データ作成 (Adobe Illustrator)

【使用ソフト】

- Adobe Illustrator
- ※対応バージョンは入稿先の印刷会社にお問い合わせください
- ※カラーモードはCMYKカラーで使用してください
- Adobe Illustrator 以外の入稿については入稿先にお問い合わせください

【作成手順】

1. 使用するドキュメントサイズを設定



※アートボードの高さにつきましては制限がございます。
トンボを含め「h2520mm」以内で作成ください。

2.データ作成 (Adobe Illustrator)

■左右のチェンジングの場合



→ ①: 「P」 レイヤーを作成し、凹凸を入れたい場所を長方形ツールを使用し枠で囲む



→ ②: 「T」 レイヤーを作成しトンボを配置
※トンボ不要な時でも「T」レイヤーは作成し表示させてください



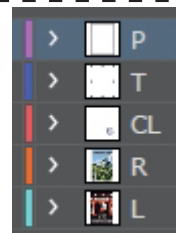
→ ③: 「CL」 レイヤーを作成し凹凸をかけない絵柄や文字を配置
凹凸をかけないことにより小さな文字・ロゴを見えやすくさせる
※不要な時でも「CL」レイヤーは作成し表示させてください
※このレイヤー内のフォントは7pt以上
※透明効果は使用しないでください。



→ ④: 「R」 レイヤーを作成し右から見える絵柄を配置
※画像解像度については B1 サイズ以内は原寸 300dpi、A0 サイズ以上は原寸 72 ~ 150dpi が目安です
※このレイヤー内のフォントは 50pt 以上 (線幅 1.2mm)
例外 1: 50pt 以下での生産が必要な場合は印刷会社にご相談ください



→ ⑤: 「L」 レイヤーを作成し左から見える絵柄を配置
※画像解像度については B1 サイズ以内は原寸 300dpi、A0 サイズ以上は原寸 72 ~ 150dpi が目安です
※LはRの下に配置してください。異なると仕上がりに影響します
※このレイヤー内のフォントは 50pt 以上 (線幅 1.2mm)
例外 1: 50pt 以下での生産が必要な場合は印刷会社にご相談ください



→ レイヤー表示は、必ず上から「P」、「T」、「CL」、「R」、「L」の順にする
※レイヤーは上記①~⑤の5つのみ作成し、ロックは必ず外してください
※レイヤー名はすべて半角の大文字にしてください

2.データ作成 (Adobe Illustrator)

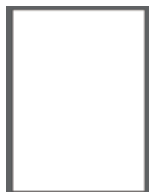
■上下のチェンジングの場合（入稿データに対して凹凸は縦に入るため、向き、回転にご注意ください）



→ ①：「P」レイヤーを作成し、凹凸を入りたい場所を長方形ツールを使用し枠で囲む



→ ②：「T」レイヤーを作成しトンボを配置
※トンボ不要な時でも「T」レイヤーは作成し表示させてください



→ ③：「CL」レイヤーを作成し凹凸をかけない絵柄や文字を配置
凹凸をかけないことにより小さな文字・ロゴを見えやすくさせる
※不要な時でも「CL」レイヤーは作成し表示させてください
※このレイヤー内のフォントは7pt以上



→ ④：「R」レイヤーを作成し上から見える絵柄を配置
※画像解像度については B1 サイズ以内は原寸 300dpi、A0 サイズ以上は原寸 72 ~ 150dpi が目安です
※このレイヤー内のフォントは 50pt 以上（線幅 1.2mm）
例外 1：50pt 以下での生産が必要な場合は印刷会社にご相談ください



→ ⑤：「L」レイヤーを作成し下から見える絵柄を配置
※画像解像度については B1 サイズ以内は原寸 300dpi、A0 サイズ以上は原寸 72 ~ 150dpi が目安です
※LはRの下に配置してください。異なると仕上がりに影響します
※配置する向き、回転にご注意ください
※このレイヤー内のフォントは 50pt 以上（線幅 1.2mm）
例外 1：50pt 以下での生産が必要な場合は印刷会社にご相談ください

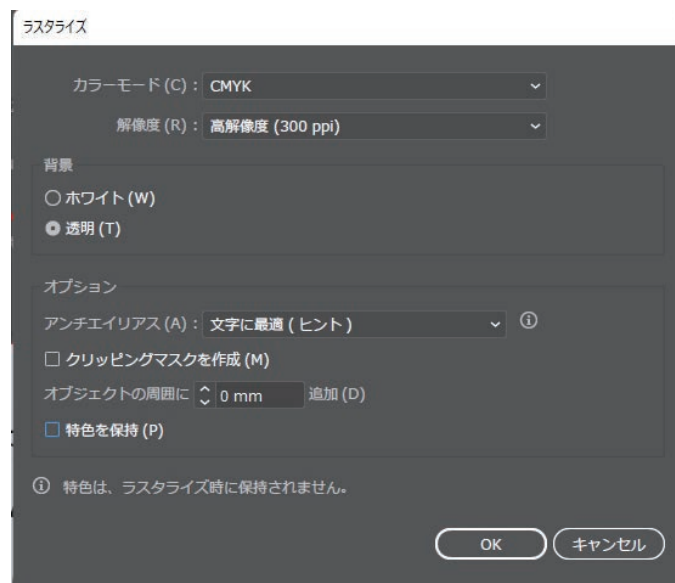


→ レイヤー表示は、必ず上から「P」、「T」、「CL」、「R」、「L」の順にする
※レイヤーは上記①～⑤の5つのみ作成し、ロックは必ず外してください
※レイヤー名はすべて半角の大文字にしてください

2. データ作成 (Adobe Illustrator)

3. ラスタライズについてについて

データを最適化することにより、印刷時のトラブルの防止となります。



[CL]、「R」、「L」の部分はラスタライズ（ビットマップ化）してください

カラーモード : CMYK

解像度 : B1 以内の場合 高解像度 (300ppi)、A0 以上の場合 標準 (150ppi) が目安です

背景 : 透明

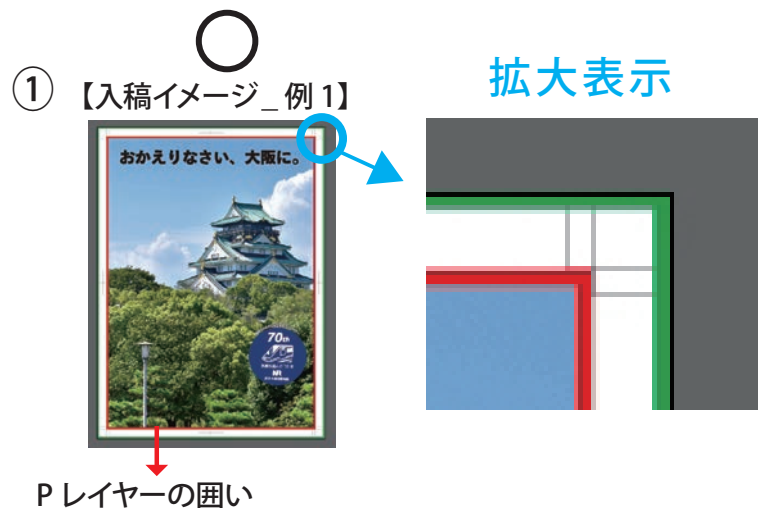
アンチエイリアス : 文字に最適

特色 : 「特色を保持」のチェックは外してください

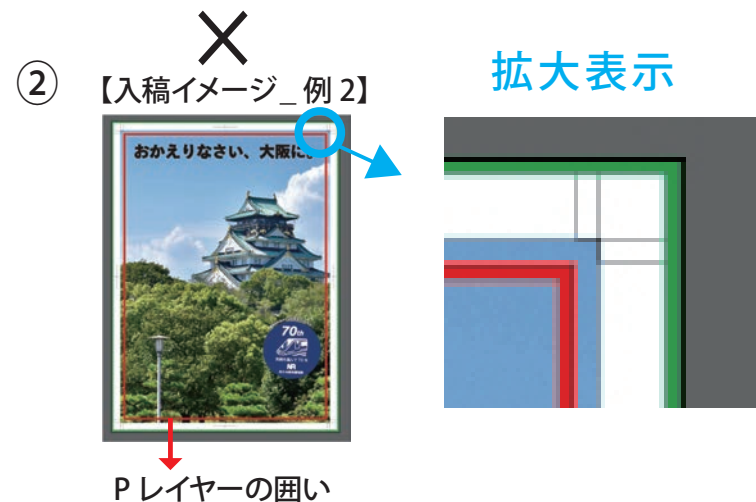
2. データ作成 (Adobe Illustrator)

【P レイヤー作成について】

— 緑線はアートボード領域
— 赤線は凹凸の入る領域 (P レイヤーの囲い)



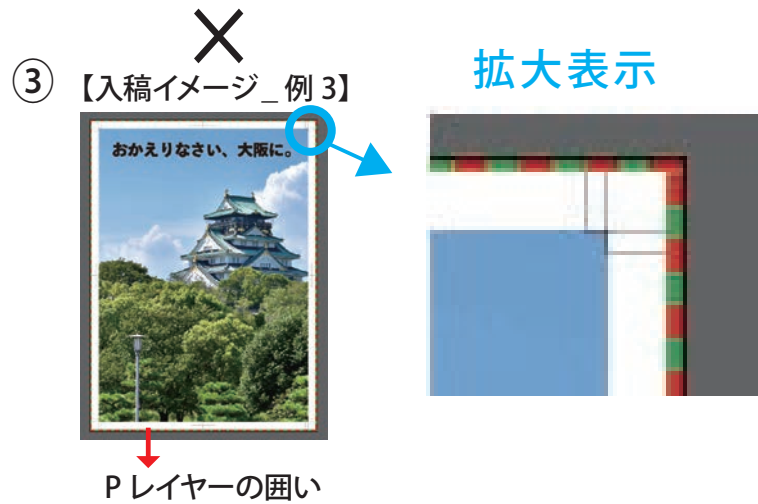
P レイヤーの囲いは、塗り足し部分含み、トンボより内側にある。
P レイヤーの囲いの外は凹凸が入らないため、トンボが見えやすくなります。



P レイヤーの囲いに塗り足し部分が入っていない。
塗り足し部分に凹凸が入らなくなります。

2. データ作成 (Adobe Illustrator)

— 緑線はアートボード領域
— 赤線は凹凸の入る領域 (P レイヤーの囲い)



P レイヤーの囲いとアートボードが同じサイズ。
P レイヤーの囲いの内に凹凸が入るため、トンボが見えづらくなります。

2. データ作成 (Adobe Illustrator)

【凹凸をかけたくない絵柄や文字がある場合：CL レイヤー作成】

文字が小さく凹凸が入ると見えづらくなる時は「CL」レイヤーにデータ配置します

1. CLレイヤーにデータを配置しない場合

<illustrator レイヤー構成>

CL レイヤー →

※データなし

R レイヤー →

※右絵柄

L レイヤー →

※左絵柄



<仕上がりイメージ>



拡大



CLレイヤーに文字がないため、小文字は見えづらくなる

2. CLレイヤーにデータ (文字・図形) を配置した場合

<illustrator レイヤー構成>

CL レイヤー →

※文字・図形

R レイヤー →

※右絵柄

L レイヤー →

※左絵柄



<実際の仕上がり状態>



拡大



文字が見えやすくなります

※CL レイヤーと R もしくは L レイヤーが重なる部分は、CL が優先され重なる部分はチェンジしません